

平成30年度 学校評価 集計結果と今後の方針 (本校)



回答率	協議委員	100%	84%
	保護者	51%	
	教職員	100%	

*協議委員：学校運営連絡協議会委員

*保護者：S部門保護者、B部門（本校）保護者

学校評価に御協力くださり、誠にありがとうございました。評価していただいた内容や、評価結果に基づき、設問ごとに今後の方針をまとめましたので、御覧ください。

多くの設問に対して丁寧に回答していただき、また貴重な御意見を多数いただきました。学校評価の結果について真摯に受け止め、さらなる教育の充実に向けて、教職員一同、努力を重ねてまいります。

東京都立 光明学園

平成30年度学校評価 集計結果とまとめ

(1) 4段階の評価をプラス評価(4、3)とマイナス評価(2、1)とし、未記入を加え、表示しました。

(2) 評価記号について

全体合計(協議委員、保護者、教職員合計)において、以下の割合に基づき、各取組の評価を行いました。

① マイナス評価10%未満(◎)

② マイナス評価20%未満(○)

③ マイナス評価25%未満(△)

④ マイナス評価25%以上(▲)

⑤ 全体評価のマイナス評価は少ないが、未記入が10%以上であり、プラス評価も高いとは言えない(□)

⑥ 教職員の未記入が10%以上であり、校内の理解啓発取組が早急に必要(■)

(3) 回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)では、個人が特定できないように表現に改めるとともに、内容を一部要約しています。

■特別重点目標1 魅力ある学校教育の創出

Q1

両部門の児童・生徒の実態に応じた交流を通し、学園の一体感が感じられる教育活動を進めることができているか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○	89%	11%	0%	74%	15%	11%	85%	14%	1%	83%	13%	4%

回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)

1 両部門児童・生徒間の交流内容の充実

- ・年間を通して両部門合同の行事があり、学園の一体感を感じます。
- ・取り組むことに本人が意欲的でとても前向きになれます。
- ・入学式、光明祭で一緒に参加できたり、映像を通じて様子を共有できた。
- ・行事だけでなく、普段の生活や給食等の交流(SとB部門)があるとよいと思う。授業の交流も可能であればあってもよいかなと思う。
- ・主要行事の最低限のみ、S部門B部門が同時に同場所で行う以外は、交流がほとんどない。
- ・もっと交流したいと思っている生徒が多いと両部門の保護者からの話も聞いている。

2 学園の一体感が感じられる教育活動の検討・改善

- ・「光明」独自の取り組みがあったと感じています。*通勤時に梅が丘駅を利用することもあり、ホーム行の階段にKAGA賞作品を見て1日頑張ろうという気持ちになります。
- ・光明祭での先生方の御尽力にいつも頭が下がる思いであります。展示・表彰で他の児童、生徒さんの頑張りに触れる機会を増やして下さりありがとうございます。
- ・児童のできる事を活かした援助表現が素晴らしいと思いました。

今後の方針

- ・来年度も、開校記念特別プログラムや光美展・光書展等の内容充実を図ることができるよう、検討いたします。
- ・日頃から学園生相互の交流を図ることができるよう、機会の検討を行います。

Q2 案内や電話の対応、服装等、学園クオリティの基盤となる教職員の接遇マナーの向上ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	89%	8%	3%	90%	9%	1%	93%	6%	1%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 教職員からの挨拶の徹底												
<ul style="list-style-type: none"> ・ 明るく、礼儀正しく、親切なあいさつをしてくれる。 ・ 学校公開に来た他校の保護者の方が対応がとても丁寧で、質問にもしっかり回答していただいたと喜ばれていた。 ・ 送迎時、すれ違ってあいさつをしない先生が数名います。 ・ 廊下を通る子ども達にも声掛けをして下さると、モチベーションが上がると感じることがある。 ・ 校内ですれ違って子どもへの対応に夢中で挨拶がない教諭が多い。 												
2 電話対応時のマナー改善												
<ul style="list-style-type: none"> ・ 電話対応は何時も気持ちよく対応して下さり、感謝している。 ・ 対応は良いのですが、先生へつないで頂くのに待つ上に、ご不在の事もあるので、改善して頂けると助かります。 ・ 経営企画室へ電話連絡の際、職員の方が名前を名乗って対応いただくと、担任の先生方と再度ご連絡する際など、安心と思います。 ・ 学校からの連絡を受けられなかった場合、誰からの連絡か不明 留守電に名前等を残してほしい。 												
今後の方針 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員のより一層の接遇マナー向上に向け、挨拶の徹底を指導いたします。 ・ 電話対応時の取り次ぎ方を校内で見直し、円滑に連絡が取ることのできる方法を検討いたします。 												

Q3 【教職員回答】新校舎建築に向けて、既存校舎の環境整備や改修、校舎移転に向けた整理・整頓が円滑に進められていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○	100%	0%	0%				78%	20%	2%	89%	10%	1%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 全校環境整備実施の成果及び移転に向けた今後の課題												
<ul style="list-style-type: none"> ・ KKP(全校環境整備日)を一斉に行うことで、普段は見ない場所も確認し、不要な物を処分できた。 ・ 整理・掃除を定期的に全員の仕事としてできていること。 ・ 廊下等に、まだ片付け切れていないモノが置かれている。 ・ 環境整備に力を入れているが、まだまだ物が多く、来年度夏の引っ越しまでにもっと片づけが必要。 												
2 校舎移転に向けた定期的な情報発信と業務内容の一層の明確化												
<ul style="list-style-type: none"> ・ 全校的、定期的な情報発信が必要。 ・ こまめに進捗状況を聞かせてほしい。 ・ 建物完成までのスケジュールを示し、それに向けて計画的に進められるとよい。 												
今後の方針 <ul style="list-style-type: none"> ・ 校舎改築担当主幹から、校舎移転に関わる情報を定期的に校内教職員へ発信し、情報共有を密に行います。 ・ 移転に向けたスケジュールと業務内容、役割分担をより明確にし、全校教職員で円滑に取り組めるようにします。 												

Q4 HPやtwitter、リーフレット、校内外の掲示板等を活用し、保護者や地域住民に向け、必要な内容が必要な時期に発信できていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	89%	11%	0%	81%	9%	11%	96%	3%	1%	88%	8%	4%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 学校からの情報発信のアピール												
<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊行事の時、twitterで様子がわかり、安心することができる。 ・ twitterが宿泊行事報告しかないのももう少し利用出来そうな気がします。あとtwitterどの程度周知されているのかわからない。 ・ HPをチェックする習慣が無い保護者が多い HPのアピールをしてほしい 												
2 緊急時の連絡体制の確立												
<ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急時、先日の停電時には、電話連絡なし。緊急時には一方的ではなく、双方向の伝達が不可欠。(社会的な常識)事後の長い報告書に校長からの指示は電話連絡が必要と記されていたが、対応の欄ではそれが反映されていなかったの、今後もしないつもりでしょうか？ ・ マチコミは改善が必要。登録者も名前が見えない人がいてはつきりしない。 												
3 学校ホームページの充実												
<ul style="list-style-type: none"> ・ HPについては、タイムリーな更新、リリースも必要かと思います。停電時の保護者向けメッセージ、リリースして緊急用ディレクトリーの活用もありかと思います。 ・ HPの改善→学部・学年などの紹介の写真が数年前の古いもののみである。最新のものをタイムリーに提供していく。 												
今後の方針 <ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急時に学校情報を迅速・確実に伝えることができるよう、「災害時緊急連絡システム」をPTAと連携し、導入いたします。 ・ 学校の情報発信充実に向けて、HPやtwitterのさらなる活用を図るとともに、保護者の皆様への情報提供を行います。 												

■特別重点目標2 効率的・機能的な学校組織の確立による組織力向上

Q5 学部や分掌、委員会等で業務の効率化や合理化ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○	100%	0%	0%				63%	32%	6%	81%	16%	3%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 分掌業務の精選												
<ul style="list-style-type: none"> ・ マニュアルの作成は次年度の担当者にとって参考になる。 ・ 分掌マニュアルが軌道にのればよいと思うが、業務内容が多岐に渡っていて、もっと精選した方がよい。 												
2 業務量の均等化												
<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定の人に負担が偏っているように感じることもある。 ・ 業務の線引きがあいまいな部分があり、担当の偏りのないように割り振りを考えることが必要だと思いました。 												
3 分掌主幹・主任会の役割												
<ul style="list-style-type: none"> ・ 主幹・主任連絡会の位置づけや扱うべき内容が明確でなかった。 												
今後の方針 <ul style="list-style-type: none"> ・ 主幹会からの発信で、各分掌主任を中心に分掌業務の精選や整理・業務量の均等化を進めます。 ・ 主幹会で分掌主幹・主任会の位置づけや内容について明確にします。 												

Q6 本校舎拠点(学部・保健室・経営企画室)・寄宿舎拠点(寄宿舎・健康指導室)がそれぞれ連携して運営できていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○				78%	10%	13%	84%	11%	5%	81%	11%	9%

回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)

1 各拠点間のより一層の連携の充実

- ・ 学部と保健室の連携が良く、安心している。
- ・ 生徒の体調不良の時などすごく親身に対応して頂いています。
- ・ 学年→学年ではなく、全体での情報共有をしっかりとやってもらいたい
- ・ 同じ内容の連絡事項が担任・看護・寄宿舎職員から入る 迎え連絡は看護からのみとし、後は連絡帳等で充分ではないか
- ・ 保健室の先生も看護師さんの意見をもっと聞いたり、頼ったりして柔軟に対応してほしい。
- ・ 寄宿舎は独自で運営しているのかと感ずることがあった。閉鎖的だと思う。

今後の方針

・各拠点間の連携で不十分な部分を見直し、児童・生徒が安心して学校生活を送ることができるよう努めます。

■特別重点目標3 専門性ある人材を活用した教育の充実

Q7 学習指導アドバイザーの導入により、校内の児童・生徒への学習指導の充実が図られていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○	89%	11%	0%	58%	17%	25%	83%	13%	4%	77%	14%	10%

回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)

1 学習指導アドバイザーによる指導の評価

- ・ 外部の専門的な先生に指導を受けられることは、とても良いと思いました。
- ・ 専門の先生の視点やアドバイスを取り入れてもらい、感謝です。
- ・ 同伴を叶えて下さったおかげで、子どもの課題が具体的に把握できました。生活にも取り入れています。
- ・ 先生たちのやっていることへの理解が深まりました。
- ・ 面談時に説明を受けると、なるほどと思います。
- ・ もう少し回数を増やしてほしい。

2 学習指導アドバイザーによる指導内容の情報提供の必要性

- ・ 学習指導アドバイザー導入の周知が必要だと思います。
- ・ 保護者同伴も可という事が先生方に周知されていなかったようで残念に思いました。
- ・ 担任にアドバイスがあったことを、保護者に伝えてほしい。
- ・ 宮城先生の指導が、学習指導に実際どのように生かされているのか、わからない。

今後の方針

・学校通信を活用し、学習指導アドバイザーによる学園生の指導についての情報提供を行います。
 ・学習指導アドバイザーによる指導日について、各担任から保護者参観の御希望の有無について連絡いたします。個別指導の内容について、連絡帳や面談時にお伝えしていきます。

Q8 【保護者学習会に出席した保護者回答】特別講師を招聘した保護者学習会は、児童・生徒に必要な教育内容を知るためにお役に立ちましたか。

【教職員回答】特別講師を招聘した学習会『言語・文字の獲得に繋がる『考える力を育てる「文字学習導入期の指導」(単語構成)』の機会を通じて、校内の学習指導力の向上が図られていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	89%	0%	11%	100%	0%	0%	82%	15%	4%	90%	5%	5%

回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)

1 保護者学習会への評価

- ・とても充実した話でした。
- ・実際に指導する側を体験し、先生方の苦勞が分かりました。
- ・このような学習方法があることを知り、是非、現場の教職員に実践してほしいと思いました。
- 先生方が授業で取り組まれていることは発達・成長へのアプローチが専門性も高く、授業参観させていただくことで家庭生活の中でも家族の参考とさせてもらう貴重な機会です。楽しく家族と過ごせることに取り入れられるのでとても助かります。
- ・学習会はよかったが、生徒たちへの指導ができていないのか不明。

2 保護者学習会の実施日についての意見

- ・時期の検討をお願いしたいです。(夏休み直前は慌ただしく、体調も優れないため)

今後の方針

- ・教職員対象の学習会を来年度も継続実施し、校内の学習指導力をより一層向上させるとともに、学園生への指導について情報提供できるよう取り組みます。
- ・保護者学習会実施日については、PTA役員会と連携し、検討いたします。

Q9 【S部門保護者回答】学校介護職員と教員との連携が進められていますか。

評価	協議委員			S部門保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	71%	15%	13%	87%	10%	3%	86%	8%	5%

回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)

1 学校介護職員と教員の連携に対する評価

- ・お互いに助け合って子ども達を見てくれている。
- ・担任及び担当のHTさんは互いにフォローしあってよい学習指導に結びついていると思います。
- ・情報共有できていると思います。
- ・担任の先生の不在時、他のHTや教員へ引継ぎがなされていないことがありました。
- ・残念ながら、全職員さんが連携しあっているのかは、疑問です。
- ・会話が足りないような気がします。

2 学校介護職員と保護者間の情報共有の必要性

- ・保護者と情報交換する場がほしいです。
- ・学校介護職員の方は頑張っているのだから、自信を持って親にも発言してほしいです。
- ・HTの方に、もっと仕事を任せてもいいように感じる。

今後の方針

- ・教員・学校介護職員間の連携に努め、チームで学園生を指導・支援する視点を校内で再度徹底いたします。
- ・学校介護職員と保護者の皆様とのコミュニケーションをより一層の充実に努めます。

Q10 【B部門保護者回答】学校や寄宿舎において、学園生への心理面の支援に関する指導が向上していますか。

【B部門教員回答】外部専門家研修は、学園生への心理面の支援に関する指導に役立っていますか。

評価	協議委員			保護者			B部門教員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
△	78%	22%	0%	56%	44%	0%	97%	3%	0%	77%	23%	0%

回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)

1 学園生の心理面に関する指導の充実

- ・ 本人の性格を考慮してタイミングや言葉を選びきめ細かく対応してもらった
- ・ 部門のニーズに応じた先生だったと思います。適切な人材の活用を今後もお願いしたい
- ・ 時間が足りない。回数を今の倍にしても相談内容は終わらないくらい抱えている。次年度以降回数を増やして欲しい。
- ・ 病弱児の精神や思春期の子供に対応する方法を知らないのではと思う 支援の仕方がわからないのではと感じる
- ・ 病弱児の心理サポートに特化した専門家をできれば常駐させてほしい 長く病気と向き合ってきた親子には必ずサポートすべき問題がある

今後の方針

- ・ 学園生の心理面に関する指導の充実に向け、来年度から外部専門家活用がより充実するよう、取組を検討いたします。

■最重点目標1 授業力の向上

Q11 授業者支援会議を通して、授業者・支援者として学習指導の改善や、新たな視点を獲得機会が、校内で作られていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%				85%	14%	1%	93%	7%	1%

回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)

1 授業者支援会議についての評価

- ・ 機会は作られているので、自分を省みるチャンスになる。
- ・ オーダーに対して適切かつ具体的な支援策をいただけたことは有難かった。その後の授業に生かした。
- ・ 他学部で「自分だったらどう改善するか」と自分に引き付けて参観すると思わぬ視点で考えられることがある。
- ・ 違う部門の教員や、他教科・他学部の教員が見ることにより、様々な視点から授業をみてもらえ、幅広くアドバイスをもらえる。
- ・ 限られた人数、時間で行えるのがよい。
- ・ 会議のメンバーを絞って行う点は良いと思う。
- ・ ポイントを絞る会議は、とてもわかりやすい。

2 授業者支援会議のより一層の充実に向けた改善

- ・ 支援者会議が、休憩時間になってしまう。支援者会議の回数を絞り、丁寧に行いたい。
- ・ 授業者の選定方法について、なぜ？と思う。事前に打診があるとよい。前もってグループを組むのは？
- ・ 付箋記入はそれぞれで行って持ちより、会議中は提示・説明中心にすると、話し合いに時間が使える。

今後の方針

- ・ 授業者支援会議の一層の充実を図るため、設定回数・支援者選び・授業者との連絡調整等、改善策を検討します。

Q12 授業参観ガイドや通知表を通して、児童・生徒の日々の指導に関する説明が伝えられていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	87%	8%	5%	94%	5%	1%	94%	4%	2%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 通知表における評価内容の充実												
・ 授業参観ガイドでねらいや見どころがわかるので良いと思う。写真付きの通知表で様子がわかりやすい。												
・ ガイド、通知表は、父親や祖父母が毎回とても楽しみにしている。												
・ 児童の良い面を120%ほめて下さるような内容ですが、課題に対する問題点等も加筆頂いた方が個人的にはリアルに受け止めることができます。												
・ 小学校の時に今の通知表をもらったらとても嬉しかったらと思います。高*グループで考えると、もう少し普段の授業の様子ができるような評価のものがよいです。できる事、ほめる事だけでなく、課題なども共有したいです。												
2 学園生一人一人に応じた学習指導の充実												
・ 指導の前に障害の理解が必要												
・ 本人の課題の具体化を願う。												
・ どんな指導をし、どのようになっているかの報告 目標を明確にしてほしい												
・ 毎年同じような内容で、手が加えられている気はしない。教育内容は変わっても変化は感じられない。												
3 授業参観ガイドの事前配布時期の検討												
・ 授業参観ガイドは、もう少し時間に余裕を持って配布してもらえると助かる。												
今後の方針												
・ 通知表がより充実したものとなるよう、記載内容について検討いたします。												
・ 学園生一人一人の目標に応じた学習指導が展開できるよう、校内での指導面での情報共有を密に行います。												

Q13 教材作成アドバイザー導入により、「工夫した教材」が増え、校内でこれを活用した授業の展開が進められていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○	100%	0%	0%	63%	20%	17%	88%	8%	4%	84%	10%	7%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 学園生への指導で使用する教材の評価												
・ 興味を持ち、子どもができる可能性を引き出してくれている。												
・ 教材に関する工夫は、いつも感服いたしております。												
2 教材作成アドバイザーに関する情報提供の必要性												
・ 教材作成アドバイザーの存在を知りませんでした。												
・ 何を使っているのかわからないため、教材をアピールしてほしいです。												
・ 具体的な事例・効果についての説明が特になかったと思います。												
・ 教材の紹介が連絡帳や学習グループ、学年だより等であるとありがたく思います。												
今後の方針												
・ 教材作成アドバイザーに御助力いただいた教材について、全校保護者会の機会や学校通信等を活用し、保護者の皆様へお知らせいたします。												

■最重点目標2

各部門の専門性発揮・向上による特色ある教育の推進

Q14 【S部門中学部3年生及び高等部1年生の保護者回答】高等部入学相談事前対策として、高等部学力調査問題の過去問題を開示することにより、お子様の高等部入学への意欲の喚起につながっていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○	100%	0%	0%	63%	38%	0%	76%	13%	11%	80%	17%	4%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 学力調査問題の過去問題配布及び対象について												
<ul style="list-style-type: none"> ・過去問等の開示はとても良い ・対象のお子様や保護者にとっては参考になって良いのではないかと。子供が受けることはないが、内容を知ることができたのは良かったと思う。 ・準ずる家庭の子にだけで良いのかなと思うところもある。 ・自分の子供には全く関係ないレベルのもので、いただいても複雑な気持ちがありました。 												
2 S部門高等部準ずる教育課程における類型説明の必要性												
<ul style="list-style-type: none"> ・各コースの詳細やそのコースでの2, 3年次の選択科目の内容を入学相談時に示してほしい。 												
今後の方針 <ul style="list-style-type: none"> ・過去問題は、学力調査の受験の有無に関わらず、願書配布時に任意でお持ちいただけるようにしております。皆様の高等部入学相談に向けて、お役立ていただけるよう、より充実する方法を検討いたします。 												

Q15 【補習に参加した学園生の保護者回答】英語検定等の挑戦に向けた補習の機会を設定することにより、学園生への学習支援ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○	100%	0%	0%	67%	33%	0%	87%	6%	7%	85%	13%	2%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 補習に関する情報提供の必要性												
<ul style="list-style-type: none"> ・検定に向けて授業以外で課題などを出していただき、ありがとうございます。熱心に指導していただき感謝しています。 ・英語検定は受けたことがありませんが、補習をしていただけるのでしょうか？そういう機会があるならば、受けた人もいられるかもしれません。そういう情報を教えていただけるとありがたいです。 ・人手も足りなく、なかなか回数も設定できていないように感じる。 												
今後の方針 <ul style="list-style-type: none"> ・英語検定等の挑戦に向けて、学園生の学習が円滑に進められるよう、校内体制や情報提供の方法等を検討いたします。 												

Q16

【S部門在宅訪問学級在籍学園生の保護者及び在宅訪問学級教員回答】タブレット型端末等ICT機器を活用した学習指導が実施されていますか。【在宅訪問学級在籍学園生の保護者及び在宅訪問学級教員回答】

評価	協議委員			在宅訪問学級保護者			在宅訪問学級教員			全体				
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入		
○				91%	9%	0%	89%	11%	0%	90%	10%	0%		
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)														
1 ICT機器活用による評価														
<ul style="list-style-type: none"> ・ クラスメイトとTV電話により会話をできたこと。コミュニケーションの機会が得られて、刺激を受けていました。 ・ 車イスなどで横になっていても、周りが見られるように、タブレットとカメラを使用して授業をしてもらえることや、スイッチを利用して表現する時間を作ってくださいるので、本人の興味の範囲が広がり、とても刺激になっている。 ・ 映像による授業は指示や目標がわかりやすく、とても良いと思う。ICT機器に詳しい先生からご紹介いただいたシステムにより、子どもの世界が大きく広がり、新しいことにもたくさん挑戦できるようになった。外出することや、身体を大きく動かす活動の難しい訪問生にとって、今後もこのような学習を積み重ねることにより、将来の可能性が広がるとよいと思う。 ・ 映像による授業は、指示や目標がわかりやすく、とても良いと思う。 														
2 在宅訪問学級の学園生に対するICT機器活用のさらなる充実														
<ul style="list-style-type: none"> ・ タブレット等、使い方や目的が多く、先生や生徒のレベルで差があるように思える。学年で共通のことをしてもらいたい。 														
<table border="1"> <tr> <td>今後の方針</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学園生一人一人の実態に応じた学習活動を進められるよう、教職員のICT機器活用に向けた研修の充実を図ります。 </td> </tr> </table>													今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学園生一人一人の実態に応じた学習活動を進められるよう、教職員のICT機器活用に向けた研修の充実を図ります。
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学園生一人一人の実態に応じた学習活動を進められるよう、教職員のICT機器活用に向けた研修の充実を図ります。 													

Q17

【S部門教員回答】授業や休み時間等で音声メディア貸出システム「聴く読書支援」(*マルチメディアDAISY図書)を活用できていますか。

評価	協議委員			保護者			S部門教員			全体				
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入		
■							44%	45%	11%	44%	45%	11%		
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)														
1 マルチメディアDAISY図書の活用場面の改善														
<ul style="list-style-type: none"> ・ 見るだけでなく、五感に刺激を与える意味で大変良かった。 ・ DAISY図書を活用した読み聞かせの呼びかけを行ってくれたことで、休み時間に体験することができた。 ・ お話宅急便は、多くの学園生が参加していて、とても良い。 ・ 学校にあることを知らなかった。課題別の時間等に活用してみたい。 ・ 授業でも活用の余地があるかもしれない。 ・ 活用方法などを周知する機会があるとよい。提示板にのせてほしい。 														
2 マルチメディアDAISY図書の管理方法の創意工夫														
<ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの人が利用できるシステム→マルチメディア教材庫を作るとよい。 ・ 特定の学年主催の印象があるが、組織として位置付けるとよい。 														
<table border="1"> <tr> <td>今後の方針</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員の積極的な活用を目指し、マルチメディアDAISY図書に関する情報提供会を設定するなど、校内情報共有の充実を図ります。 </td> </tr> </table>													今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員の積極的な活用を目指し、マルチメディアDAISY図書に関する情報提供会を設定するなど、校内情報共有の充実を図ります。
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員の積極的な活用を目指し、マルチメディアDAISY図書に関する情報提供会を設定するなど、校内情報共有の充実を図ります。 													

Q18 「オリンピック・パラリンピックアワード顕彰校」として、オリンピック・パラリンピック教育について、児童・生徒が学習を進められていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	75%	5%	19%	93%	4%	4%	89%	3%	8%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 オリンピック・パラリンピック教育による学園生の学習の充実												
・ 自国・各国の文化を知る機会になっている。												
・ 講師の先生方が、生徒を理解してくれ、とても良い。												
・ 茶道の先生に来ていただいたり、自分で茶筪で立てた抹茶をいただく体験ができたこと。茶道は3年間連続して経験しているので子供も慣れてきたこと。												
・ 茶道等、いつも触れる事が少ないことを体験するには、いいと思います。												
・ とても楽しく、刺激になると、子どもより聞いています。												
・ 服装などよく調べている様子がある。さらに他国のことも目を向けていったらよいと思う。												
2 東京2020オリ・パラマスコット来校に関する評価												
・ マスコットキャラクターが来校したことは、子ども達もきくと覚えていると思います。いい経験でしたね。												
・ パラリンピックのマスコットキャラクターが来校された様子を拝見して、我が校の生徒たちもオリンピック、パラリンピックの輪の中に入っている感慨がありました。												
今後の方針	・ 来年度もオリンピック・パラリンピック教育に関する取組内容の改善を図り、本学園のオリンピック・パラリンピック教育のさらなる充実を目指します。 ・ オリンピック・パラリンピック教育の取組について、学校通信等を活用し、保護者の皆様への情報提供に努めます。											

Q19 【S部門中学部・高等部のうち、夢・未来プロジェクトに参加した教職員回答】「夢・未来プロジェクト実施校」として、生徒はパラリンピアン(ウィルチェアーラグビー)との交流ができましたか。

評価	協議委員			保護者			S部門教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○							88%	12%	0%	88%	12%	0%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 パラリンピアンとの触れ合いによる学園生の変化												
・ 児童・生徒に夢を与えた												
・ 実施体験だけでなく講師とのやり取りで児童・生徒の夢や希望につながられた。												
・ とても良い機会となり、良い刺激となったと思う。												
・ 三阪さんの話を聞くことで、生徒の考えに変化が見えた。												
・ パラリンピアンと接する機会はとても貴重なので、良かった。												
2 夢・未来プロジェクトの運営方法に関する工夫												
・ 今回は車いす操作や車いすでのタックルの体験はできたが、選手同士のゲームは見学できなかったため、迫力ある実践プレーを見学できるとより良かったと思う。												
・ 生徒が見やすいようにステージに選手が上がるなどの工夫が欲しかった。												
今後の方針	・ 東京都教育委員会がオリンピック・パラリンピック教育の一環として実施している「夢・未来プロジェクト」では、学園生がオリンピック・パラリンピアンとの触れ合いがより充実できるよう、運営する業者と密な連携を図ります。											

■最重点目標3

児童・生徒が安心して学校生活を送れる生活指導体制の構築

Q20

いじめ・体罰防止、自殺防止に向けて、学校全体で適切な指導が行われていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○	67%	33%	0%	60%	11%	29%	93%	5%	2%	73%	16%	10%

回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)

1 いじめ・体罰防止、自殺防止に向けた指導の充実・改善

- ・ 小学部では、上記評価項目が問題となるような生徒を見受けませんが、大事なことです。
- ・ 言葉を発することが出来ない生徒へのハラスメントをどのように防止するか？への課題があると思います。
- ・ 自殺を自らできない子供ですが、いじめのようなことは実在する。要望しないと心のケア、コミュニケーションのケアまではクラスの手が回っていないように思います。
- ・ 表面的な対処のみになっている 障害と向き合った適切な指導が必要
- ・ 舎の先生の対応がまだまだ不十分だと思います。

2 いじめ・体罰防止、自殺防止に向けた取組の情報提供

- ・ どのような指導が行われているのか、よくわからない。
- ・ どんな取り組みをされているのか知りませんでした。

今後の方針

- ・ S・B両部門の児童・生徒の障害や病気の特性に沿ったいじめ・体罰防止、自殺防止に関する教職員への研修等の取組を検討いたします。
- ・ いじめ・体罰防止、自殺防止に向けた取組について、保護者の皆様へ情報提供をいたします。

Q21

両部門の児童・生徒の実態に応じて、両部門合同の避難訓練の実施ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎				85%	6%	9%	88%	7%	5%	87%	7%	7%

回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)

1 避難訓練の充実に向けた改善策の検討

- ・ 校内及び寄宿舍での訓練ありがとうございます。
- ・ 障害特性に合った学習支援が必要
- ・ 体育館へ移動することで訓練の充実とは思えない。
- ・ 巨大津波を想定し屋上への避難訓練はどうでしょうか？梅ヶ丘駅の海拔は32m、南海トラフの地震の津波が心配です。
- ・ 医療的ケアの実態に応じた訓練もしてほしいところ。
- ・ 医ケアのある子の宿泊訓練はないので、ぶっつけ本番ですね。一番大変でお手数をおかけしそうですみません。

2 宿泊防災訓練の情報発信の必要性

- ・ 学年特定で訓練したりしているが他の生徒にも内容報告、情報を知らせる方が良いと思う

今後の方針

- ・ 新校舎使用を控え、様々な形態の避難訓練の実施、防災ルートの確認等の取組を検討いたします。
- ・ 宿泊防災訓練の取組内容をお知らせする臨時学校通信を今年度から配布しております。宿泊防災訓練の理解啓発を図るため、来年度も継続いたします。

Q22

【保護者回答】児童・生徒が安全に学習できる生活指導ができていますか。

【教職員回答】万一の事故が起きた際に、保護者へ事故再現・説明を行うとともに、再発防止訓練を実施することにより、再発防止策を徹底することを心がけ、児童・生徒の安全管理を念頭に置いた指導ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○	78%	22%	0%	74%	16%	10%	89%	10%	2%	80%	16%	4%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 全学園生の安全に配慮した学校生活への期待や要望												
<ul style="list-style-type: none"> 我が子の特性に合わせて、動きを制限しすぎない様をお願いしている事は状況に合わせて理解していただいている、嬉しく思う。 転落事故等報告してあるもの、ないものも含めると多い方だと思います。動かないであろう、大丈夫であろうは、ないと思います。 直近でお知らせ下さっているトイレでの事故の他にも学校での怪我を伴った事故のことは知っていますが、改めて安全に過ごせるように配慮いただきたいです。 事故説明は、検証後ということで、それまで何が起きたか直接的な事実説明すらないのは、後回しにしているだけと思われるも遅い対応と思われるも仕方ないと思う。 												
今後の方針 <ul style="list-style-type: none"> 全学園生が安心して学校生活を送ることができるよう、日々の指導体制や環境整備を行います。また、保護者の方への説明は、正確な情報をできるだけ早急にお知らせできるよう、努めてまいります。 												

Q23

校内で児童・生徒が事故や怪我をしないように、安全な環境整備ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○	100%	0%	0%	56%	32%	12%	85%	13%	1%	80%	15%	4%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 児童・生徒が安全に学校生活を送ることができる施設設備の充実												
<ul style="list-style-type: none"> 整理されていると思います。 現場の先生方が本当に頑張って下さっていますが、とてもお忙しいので。 寒く、暗いトイレを早急に何とかしていただきたい。新しい校舎になる前にでも、改善してほしい場所です。 												
2 児童・生徒指導中の安全管理の徹底												
<ul style="list-style-type: none"> 寝ている子供たちの枕元に足が来る近さで歩いていた。名札にはボールペンが下がっています。 足が身体に触れていなくても、ペンが落ちたらと思うと怖かった。医ケア用品かごの置く場所等も気をつけてほしい。 残念ながら授業中に、ちょっとした油断から、怪我してしまいました。先生方の授業の取り組み、工夫に感謝していますが、ホントにちょっとした油断が事故につながってしまうと感じました。 老朽化した校舎・教室という環境の中で、またそのスペースでは仕方がないことが多いかと思いますが、それぞれのお子さんの姿勢や状態に合わせたポジションを作り、また可能な範囲でそれぞれのお子さんと同じ姿勢をとっての安全確認等、改めてチェック体制を作るなどして下さるとありがたいです。 												
3 環境整備による事故再発防止の徹底												
<ul style="list-style-type: none"> トイレの事故や怪我が起こらないよう、再度環境整備の見直しや人手不足ではないか、検討してほしい。 転落事故につながる危険なベッドが何年もそのまま使用されている。 												
今後の方針 <ul style="list-style-type: none"> 学園生が安心して学校生活を送ることができるよう、指導中の安全体制構築や校内環境整備の徹底に努めます。 												

Q24

児童・生徒の安全な通学に向けて、スクールバス運転手・添乗員との連携や、一人通学をする学園生の通学指導、学校・寄宿舎間の安全な通学指導ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
□				69%	11%	20%	91%	4%	5%	80%	7%	13%

回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)

1 スクールバス運転手、乗務員との情報の共有化

・バス乗務員さんは毎日車内での様子を伝えて下さり、安心です。

・ **コースの添乗員さんにはとても良くしていただいて感謝です。車内の様子を先生やヘルパーさんや保護者に伝えてくれて助かっています。

・ 各自の病状を運転手さん、乗務員さんが把握されていないことに不安を感じました。必要の範囲で共有すべきと考えます。

・ 前年度と変更が生じた場合には、担任の先生にもバスの事に関して(環境)共有していただけると、安心である。

2 校舎外での学園生への安全配慮

・ 工事のトラック、抜け道を使う事に気を付けてこれからも子どもたちにも指導、誘導してほしい

・ 寄宿舎からの学校への入り口C棟の角の通用口の外の防犯カメラが植木により機能していない気がします。

3 学園生の一人通学指導の改善

・ 「いつまでに何をを目指す」というスケジュールが足りません。一人通学を入学時に希望し、その後、1年半、こちらから再度話を出すまで全く動いていなかったのので、指導計画が見えません。

・ 本人ができることは本人がやる等、普通の生活に向けて支援していただきたい

今後の方針

- ・ スクールバス乗務員研修を継続し、学校とスクールバスの運転手や乗務員との連携をさらに進めます。
- ・ 防犯カメラの撮影が適切にできるよう、C棟通用口の植木剪定を行いました。
- ・ 西棟建築中及び使用開始後の登下校時の学園生の安全指導及び安全管理を徹底いたします。
- ・ 学園における一人通学の手続きの明確化に向けて、校内で改善を行います。

Q25

【B部門保護者回答】本校(保健室含む)と寄宿舎(健康指導室含む)と連携し、児童・生徒の自立生活に向けた生活指導ができていますか。

評価	協議委員			B部門保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
▲				67%	33%	0%	82%	18%	0%	74%	26%	0%

回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)

1 寄宿舎生の自立生活に向けた指導の改善・充実

・ 実態に応じた自立指導・支援を家庭と連携して行う体制作りには課題がある

・ 障害特性に合った学習支援が必要

・ 朝起きられない子どもや肥満・偏食の子どもに対して、生活リズムや食育についての授業やケース会を行う等、学部と寄宿舎でより連携した指導が必要。

・ 保健教育への参画が必要である。

・ 寄宿舎では「食生活」に関する実技的な指導はできないが、家庭で生かせるよう必要に応じてできないものか。学部の調理実習と合わせて機会を持るといいと思う。

今後の方針

- ・ 寄宿舎生への「自立生活に向けた生活指導」の観点で、学校全体で連携した上で指導計画の見直しを行います。

■最重点目標4

安心できる保健体制と安全で美味しい給食を提供できる体制の構築

Q26

両部門の児童・生徒の健康状況に応じて、保健室での指導や緊急対応がなされるとともに、保健室や寄宿舎健康指導室が連携して指導ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体															
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入													
◎				94%	3%	4%	91%	6%	3%	92%	4%	4%													
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)																									
1 学園生への保健指導の充実																									
<ul style="list-style-type: none"> ・ちょっとしたことでも保健室ですぐに対応して下さるので、安心して学校生活を送ることができている。 ・保健室の**先生、担任の先生、主幹の**先生はじめ、日常的にコミュニケーションを取って下さり感謝しています。 ・先生と保健室一緒になってしっかりと対応してもらっていて、とても感謝しています。細かい観察は母以上です！本当に安心しています。 ・B部門に関してはできている ・しっかり対応してくれている ・「何かあった時」の構えが強すぎて子ども主体の教育が受けにくい。 																									
2 保健室及び寄宿舎健康指導室への提出書類の改善検討																									
<ul style="list-style-type: none"> ・双方で書類に同じ項目がある コピーで済ませられれば良い 																									
<table border="1"> <tr> <td style="width: 15%;">今後の方針</td> <td colspan="12"> <ul style="list-style-type: none"> ・学園生一人一人の健康状況に応じた指導の充実に向け、保健室と各担任との緊密な情報共有や、体調不良時・緊急対応時の保健室対応の充実を図ります。 ・学園生の健康管理を円滑に進められるよう、保健室と寄宿舎健康指導室の連携をより一層目指します。 </td> </tr> </table>													今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・学園生一人一人の健康状況に応じた指導の充実に向け、保健室と各担任との緊密な情報共有や、体調不良時・緊急対応時の保健室対応の充実を図ります。 ・学園生の健康管理を円滑に進められるよう、保健室と寄宿舎健康指導室の連携をより一層目指します。 											
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・学園生一人一人の健康状況に応じた指導の充実に向け、保健室と各担任との緊密な情報共有や、体調不良時・緊急対応時の保健室対応の充実を図ります。 ・学園生の健康管理を円滑に進められるよう、保健室と寄宿舎健康指導室の連携をより一層目指します。 																								

Q27

校内の児童・生徒の健康状況に応じて、教職員がアレルギーやその対応方法について理解し、行動できていると感じますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体															
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入													
◎	100%	0%	0%	78%	1%	20%	88%	5%	6%	89%	2%	9%													
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)																									
1 適切なアレルギー対応に関する評価																									
<ul style="list-style-type: none"> ・何かあるとすぐに連絡をくださること。宿泊行事の時の食事など、とても配慮してくださっていること。 ・アレルギーのある生徒が元気に日々学校生活を送れている点。 ・必要に応じ、時間を作って下さり、一人ひとりに寄り添った対応をいただいき、常に児を思っただいただいています。 																									
<table border="1"> <tr> <td style="width: 15%;">今後の方針</td> <td colspan="12"> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員及び保護者の皆様がアレルギーやアレルギー対応食に関する理解をより一層深められるよう、校内での取組を検討いたします。 </td> </tr> </table>													今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員及び保護者の皆様がアレルギーやアレルギー対応食に関する理解をより一層深められるよう、校内での取組を検討いたします。 											
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員及び保護者の皆様がアレルギーやアレルギー対応食に関する理解をより一層深められるよう、校内での取組を検討いたします。 																								

Q28 学校として、医療的ケア児への専用通学車両や、人工呼吸器管理の都指定事業について、保護者へ適切に情報提供がされていますか。

評価	協議委員			S部門保護者			S部門教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	76%	6%	18%	90%	4%	6%	89%	3%	8%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 全校保護者への情報提供に関する評価												
・ 光明の橋もとても詳しく書いていただき、分かりやすく助かっています。												
・ 情報提供はよくできています。次は、実践に向けて加速してほしいですね。												
・ 訪問生にも、より迅速に情報提供をしていただきたい。												
今後の方針			・ 医療的ケア児への専用通学車両や、人工呼吸器管理について、保護者の皆様へ情報提供を継続するとともに、校内の取組をより具体的に進めてまいります。									

Q29 【喫食している通学生の保護者回答】厨房環境に応じた安全で美味しい給食提供と楽しい給食タイムの実現ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎				87%	12%	2%	92%	5%	3%	89%	8%	2%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 給食及び寄宿舎賄食の評価												
・ メニューの工夫を感じます。												
・ お出汁等、丁寧に作られている。												
・ 手間のかけた美味しい給食をありがとうございます。												
・ とても喜んでます												
・ 寄宿舎では美味しく楽しく楽しんでいる												
・ 食べられる量が増えた いつもおいしいものをありがとうございます												
・ 多くの保護者・生徒から美味しくないと聞く												
・ B部門の子供たちには学校の給食は評判が悪い												
2 摂食機能と形態食の充実												
・ 初期食のペースト加減等安定した形状で安全に喫食できること。												
・ 初期食では基本的に素材ごとにブレンダーされているようですが、それでは離乳食の様に思います。料理されたものをブレンダーして頂きたいです。												
・ 形態食の子どもたちにもちゃんとした料理の味を月に一度は食べさせてほしい。毎日素材の味ばかり食べることが本当の食育と言えるのでしょうか。オリパラ給食もちゃんとした料理を味わっているのは、普通食の人たちのみです。テリーヌの味を変えるだけで変化をつけていると、胸をはって言えるのでしょうか？												
3 楽しい給食タイムの実現												
・ 給食時間が短いと思います。食育プログラムとしてもっとゆっくり時間(給食)を与えられないのでしょうか？												
今後の方針			・ いただいた御意見を参考にし、学園生の給食内容や摂食指導の充実を図ります。									

Q30

【S部門通学生の保護者回答】児童・生徒の摂食機能に応じた形態食の提供や、それぞれに応じた摂食指導ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○				75%	25%	0%	84%	13%	3%	79%	19%	2%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 学園生の実態に応じた形態食の充実												
<ul style="list-style-type: none"> 息子は普通食ですが、形態食を上げるのに、必要以上に慎重だと聞きます。昭和大歯科の先生のアドバイスより安全ばかりを優先するのはいかがかと思えます。給食以外はとても意欲的に取り組んで頂けるのに残念に思えます。歯科の先生の指導が受けられなくなり、不安です。 後期食がやわらかすぎる。子ども達も様々な形態食の子どもが入学してきているので、見直してほしい。新校舎になったら、2点盛りも可能と聞いたので、来年度期待している。摂食も子どもの大切な要素と考えている。詭弁ばかりの摂食指導ではなく(学年の年生ではない)、子どものニーズに合った美味しく安全な給食の提供に期待したい。 形態を変更するのに時間がかかりすぎる。 												
2 外部専門家の活用による成果と課題												
<ul style="list-style-type: none"> 特設日だけでなく、日常においても専門STの先生から、担任・HTの先生方への指導をお願いしたいです。 摂食指導を受けられる機会がとても少ない。 摂食指導を受けたことで、その後の摂食の状態が改善したか、評価が行われているのか疑問に思う。 												
3 摂食指導の充実												
<ul style="list-style-type: none"> 入学後摂食の変化が多いが、形態や姿勢等工夫してもらえ、感謝している。 摂食の練習を学校でできるようにしていただきたいです。そのため、摂食と注入の併用を認めていただきたいです。 												
今後の方針 <ul style="list-style-type: none"> 外部専門家活用に関する成果に基づき、来年度の摂食指導について検討いたします。 建築中の厨房施設の状況も踏まえつつ、児童・生徒の摂食機能に応じた形態食の提供に向けて、努めてまいります。 												

Q31

校内の各種保健行事は、効率的に進めることができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎							88%	6%	6%	88%	6%	6%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 身体・体重測定の迅速化及び充実化												
<ul style="list-style-type: none"> 身体計測の待ちが長い。体重・身長計とも、もっと増やしてほしい。 座って測れる計器が古い。購入を見直してはどうか。 体重測定を全員毎月行ってほしい。4月・10月はしっかりと、それ以外は簡易計測でよいので。 全員必須がいつなのか、学園単位かグループ単位かわからなかった。 訪問生の宿泊前検診について、該当学年以外の時にも、柔軟に対応していただければ、助かっている。 欠席がちな生徒の計測は、登校した日に計測する等柔軟に対応してほしい。 												
今後の方針 <ul style="list-style-type: none"> 身長・体重測定を始め、定期健康診断等の保健行事の充実に向け、具体的な取組を検討します。 												

■最重点目標5

進路指導・地域支援の充実

Q32

【教職員回答】就学・転学・入学・教育相談、地域支援、進路指導について、学園として連携し、就学予定児や児童・生徒本人、保護者へ適切に支援ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎							93%	2%	4%	93%	2%	4%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 校内情報共有の改善												
<ul style="list-style-type: none"> 行政との進路懇談の資料の回覧がない。情報共有をしっかりとしてほしい。 誤解をされている保護者がいたため就学前の当校の情報を確実なものにしてほしい 												
2 進路指導業務の負担軽減												
<ul style="list-style-type: none"> 進路専任の先生の仕事量が多すぎる。1人で担う量ではない。適切な支援を求めるのであれば、そのサポート業務をする主任教諭等つけるべき。 組織で対応しきれない場面があった。関係教員の連携がうまくいかず、保護者にも悪影響があったのではないかと推測できるようなこともあった。 他校受験の進路指導が難しいようである。 												
3 B部門高等部進路指導の充実												
<ul style="list-style-type: none"> Bは全員準ずる課程であるが、一般の就職や進学が難しいと考えられる生徒への進路指導を充実させるためのノウハウが欲しい(自分が、知的や就技の支援校未経験なので不安) B部門で就職希望の生徒には、高校2年次に現場実習の機会があったほうが良いのでは。B部門も進路部が2名いたほうが良いと思う。 B部門高等部生の進路先については、準ずる課程で福祉就労が可能なのか？その前の実習も可能なのか？必ずしも上級学校への進学がありきではないのが生徒の実態である。今後、本校としてどのように進路指導すべきか検討すべきである。 												
今後の方針 <ul style="list-style-type: none"> 教育相談部から保護者へ伝えている情報を校内で事前に共有します。 進路指導部が、各部門各学部各教育課程の進路指導計画を作成します。 B部門高等部の進路指導は、多様な生徒の実態に対応できるよう他校(様々な都立校、知的特支校)の指導実践について情報収集します。 												

Q33

【B部門小・中学部保護者回答】東京都特別支援教育推進室と連携し、病弱教育部門の見学、教育相談、転学相談について、適切な対応ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○				75%	25%	0%	92%	8%	0%	83%	17%	0%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 東京都特別支援教育推進室との連携												
<ul style="list-style-type: none"> 転学を申し出てから転学までの期間が長い。区と都の連携が悪い 平日に何度も見学せずに済むようにしてほしい。一度に様々な人に会っても覚えられないので写真入りの職員紹介等があると良い。本人の課題のためというより 医師の都合に合わせる面談にしてほしくない。 												
今後の方針 <ul style="list-style-type: none"> 義務教育段階の児童・生徒がB部門への転学相談を円滑に進められるよう、東京都特別支援教育推進室とより一層の連携を行います。 												

Q34

【中学部・高等部学園生の保護者回答】学園として、企業就労・通所施設等利用や、高等部(高校)や大学等の進学へ丁寧に対応ができていますか。

評価	協議委員			中・高等部保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
□				52%	6%	42%	88%	6%	6%	70%	6%	24%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 進路情報の発信に関する評価												
・ 情報に関してまだ知らない これから教えてくれることを期待している												
・ 先輩の話など聞くことができるのは本人にとっても良いと思う。												
・ 説明会の日に出席できなかったが、後日個別に時間をとっていただいて有り難かった。												
・ 大まかにできています。ご担任先生方、他教科の先生方のご指導に感謝します。												
・ 通所や企業就労等の情報はもらえている。												
・ 本当に色々とお世話になり、感謝いたします。												
・ 希望に沿った進路先の実習、また、情報提供をしていただき、大変感謝しております。ありがとうございます。												
・ 実習前から細かく相談に乗って頂き大変丁寧でした。												
・ 我が家にとっては今後の課題。親が積極的に行動しなければ回答が得られないような不安はある。(提案をたくさん出していただけると助かる)												
・ 先生方には、生徒の身体障がい機能へのご配慮と想像力を働かせていただきたいです。もう少し対応していただけませんか？												
・ 進学等への情報や選択科目の取り方のアドバイス等をいただきたい。												
今後の方針												
・ 学園を挙げて、学園生一人一人に応じた進路情報の提供に努めます。												

Q35

【S部門教職員回答】卒業支援・連携として、卒業生の自立支援の為のアフターケアや、同窓会支援等ができていますか。

評価	協議委員			保護者			S部門教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○							83%	10%	7%	83%	10%	7%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 アフターケアの共通理解												
・ 分掌業務となっているが、学校と保護者で方針に差があった。共通理解を図る必要がある。												
・ 卒業生のその後の情報の提供→過去5年の進路のアフターケアの生徒情報を共有し、日々の授業実践に活かす												
2 光明カレッジの業務内容検討												
・ 光明カレッジの分科会として訪問カレッジが必要。												
・ 速やかな業務改革を求める。卒業生保護者が在籍していた時代から「働き方改革」が進んでいることを明確に伝えてほしい。												
・ 卒業生も多くのニーズがあるのを感じる。あまり全校に周知されていない。												
今後の方針												
・ 進路指導部と地域支援部が主体となり、学校としてアフターケアの内容を全校で共通理解した上で、保護者への情報提供の充実を図ります。												
・ 光明カレッジの実施主体や形式について校内で検討します。												

Q36 学校公開や光明キッズ実施を通して、参加者のニーズに応じた学園の情報提供や支援ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎							95%	2%	3%	95%	2%	3%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 学校公開運営の上での課題												
<ul style="list-style-type: none"> ・担当の分掌に関わること。担当者同士の情報共有が課題。 ・今年度は異例だったが、学校公開と授業参観は、重ねない方がよい。教室が過密。 ・授業参観と学校公開は、別日に設定した方がよい。 												
2 光明キッズ運営による評価												
<ul style="list-style-type: none"> ・キッズは、情報の少ない児童の安全管理含め、小学部が頑張っている。 												
今後の方針 <ul style="list-style-type: none"> ・担当分掌を中心に全教職員で協力体制を構築し、学校公開を円滑に運営します。 ・光明キッズは、今年度の成果と課題をS部門小学部で情報共有し、来年度の実施に向けた準備を進めます。 												

Q37 学校PTAとして、教職員・保護者が連携してPTA活動を行うことができますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎				81%	5%	14%	86%	4%	9%	84%	5%	12%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 PTA活動実施に関する評価												
<ul style="list-style-type: none"> ・がやがや夏祭りなどの行事で先生方と一緒に楽しめたこと。身近な先生が行事でいらっしゃる子供もうれしいと思う。 ・PTA行事には先生方は一緒になり協力してくださり生徒の為に動いている ・がやがや夏祭り実施にあたって保護者と随時必要な連絡をとりあうことができた。 												
2 PTA活動内容の情報共有の必要性												
<ul style="list-style-type: none"> ・PTAの活動内容を、皆意外と理解していません。入学式や入学後に、きちんと説明することも必要かと思われます。 ・イベントだけでなく、日常的に教員幹部だけでなく、身近な担任もPTAに近いところで、もう少し対話できる機会、情報共有できるとよいと思います。 												
今後の方針 <ul style="list-style-type: none"> ・教職員・保護者間の情報共有の上でPTA活動が充実するよう、PTA役員会と連携し、取組を検討いたします。 												

■最重点目標6

ライフ・ワーク・バランスを踏まえた、安全で魅力ある学校・職場環境の創出

Q38

学園生が読書活動に親しめるように、校内の読書環境の整備が進められていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	69%	12%	19%	87%	8%	5%	85%	6%	8%

回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)

1 学園ライブラリー等の蔵書図書に関する評価

- ・ 良い本を選んで配架している。
- ・ さまざまな場所に本があり、図書のために歩いて→借りて→読むが、成立している。
- ・ 楽しく新聞を読ませてもらって感謝している。
- ・ 教室にも自由に見られる絵本や図鑑がほしいです。
- ・ 子どもは学校の図書館にほとんど本がないと言っています。
- ・ 図書委員を子ども達にさせてみてはどうでしょうか。PTAも協力して読み聞かせ等できるように思います。
- ・ 寄宿舎に図書スペース兼リラックスできる場所があれば良い もっとたくさんの図書がほしい。

2 図書貸出システム稼働に向けた要望

- ・ 保護者への貸出しシステムと閲覧場所、できれば椅子・テーブル等も伴ったスペースがほしいです。
- ・ 図書貸出システムを期待する。

今後の方針

- ・ 図書貸出システムを現在準備しており、間もなく稼働いたします。
- ・ 来年度も学校・寄宿舎双方の図書の充実を図るとともに、読書活動に関する取組を検討いたします。

Q39

校内の整理・整頓と美化や、分かりやすい校内案内表示の設置を行い、学園としての教育環境が整えられていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	78%	16%	6%	87%	8%	5%	88%	8%	4%

回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)

1 校舎の案内表示新調による評価

- ・ この1年間で、案内表示が分かりやすくなりました。
- ・ 校内がとても分かりやすくなりました。

2 校内環境の衛生面向上

- ・ 教室内の衛生面を改善をお願いします。例えば、ロッカーの上に遊具や荷物があふれ置かれている中、飲み物のコップやスプーンをその隙間に日常的に置いているようで、気になります。
- ・ 何度か使用させて頂いているトイレには、清掃している気配がありませんが、チェック体制を設けてほしいです。来年度に新校舎に変わりますが、清掃体制次第で新築の保たれ方が大きく違ってくると思います。清掃の在り方は子どもたちの体調への影響が大きいですので注視して頂きたいです。
- ・ 床、カベ、天井が薄汚れている。→壊す前で、ずっとガマン。壁に貼る掲示物の工夫などで、もう少し改善できるはず。

今後の方針

- ・ 学園生が安心して学校生活を送れるよう、教室や校内環境につきまして衛生面を確認いたします。
- ・ トイレは、業者による清掃を週4回実施し、清掃後は職員による事後チェックをしております。お気付きの点などございましたら、お知らせください。

Q40 【教職員回答】環境整備やリフレッシュ資源導入により、教職員が働きやすい職員室の整備ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%				81%	11%	8%	91%	6%	4%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 職員休養室の整備と職員室・更衣室の清掃												
<ul style="list-style-type: none"> ・レイアウトの変更などで以前より動きやすい職場になった ・皆で努力している。ゴミ捨て等、進んでする人が増えてきた。 ・オフィスグリコに加えコーヒーサービスがあるとよい。放課後のパンの販売なども ・職員室のごみ・ほこりがすごい。月1回でよいので、職員室清掃の時間を設定してほしい。 ・更衣室の清掃の当番制の見直しを行いたい。更衣室ごとに統一されていないように感じる。 												
2 収納スペースの狭さ												
<ul style="list-style-type: none"> ・KKPにより不要な物品を大規模廃棄できたことで、従前に比べて職員室の執務スペースがより広くなったように思う。 ・書類等を納めておくスペースが少ない。 ・経営企画室の収納力が低い。面積上限界はあるが、定期的な清掃で少しは改善できそうではある。 												
3 掲示物の整理												
<ul style="list-style-type: none"> ・提示物も見やすく整理したい。 ・職員室内の掲示が整理されておらず、情報が取りにくい。 												
今後の方針 <ul style="list-style-type: none"> ・職員室内のスペース配置を鑑み、教職員全員で必要物品の精選や、不要物品の積極的な処分を行い、業務スペースを確保するよう努めます。 ・教育環境部が主体となり、職員室や更衣室の清掃や、職員室内掲示物について整理整頓についてのルールを決め、定期的な職員室整備を行うようにします。 												

Q41 【教職員回答】高機能印刷機・TAIMS端末活用により、業務効率化の推進ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%				84%	6%	10%	92%	3%	5%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 高性能印刷機の活用による業務環境の充実												
<ul style="list-style-type: none"> ・教材がすぐにカラーで用意でき、非常に業務効率化につながっている。 ・高機能印刷機の導入によって、カラー印刷が可能になったことは教材作成や事務作業に役立っている。 ・オルフィスの導入で、カラー印刷がしやすくなった。製本作業も出来るので、時間の短縮になりました。 ・誰でもカラーコピーできるようになり、教材の幅が広がった。 ・HTも使えるようにすると、先生方の仕事を助けられるのでは？ 												
2 TAIMS端末活用に伴う業務効率化の成果												
<ul style="list-style-type: none"> ・企画室との情報共有とメール連絡が効率良く業務の遂行できた点 												
今後の方針 <ul style="list-style-type: none"> ・高機能印刷機のさらなる活用に向け、情報管理部と連携し役立つ機能の周知や消耗品ストックの確保を図ります。 												

Q42 公用携帯電話の配備・台数増加により、校内連絡体制の迅速化が図られていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体				
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入		
◎	100%	0%	0%				84%	5%	11%	92%	2%	6%		
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)														
1 校内連絡体制の迅速化														
<ul style="list-style-type: none"> ・ 校外学習での連絡が取りやすくなった。 ・ 体調不良等で保健室に電話をかけた時に、スタッフが不在の場合、公用携帯電話で連絡することで迅速に対応できている。 ・ 医ケア生徒の発作対応などで公用携帯電話が使えることで迅速に対応していたたき、助かっている。 ・ 緊急時対応が迅速になった。 ・ 該当管理職が校内にいればすぐに連絡が取れる。緊急時対応ができた。 ・ 持っている先生は、ちゃんと持ち歩いてほしい。 														
2 公用携帯電話の活用場面の検討														
<ul style="list-style-type: none"> ・ 部活動における大会参加の際には、活用しきれていないように思う。 														
<table border="1"> <tr> <td style="width: 15%;">今後の方針</td> <td>・ 来年度も公用携帯電話を継続配備するとともに、公用携帯電話を常時携帯するなどのルールを再確認することにより、校内連絡体制の迅速化を図ります。</td> </tr> </table>													今後の方針	・ 来年度も公用携帯電話を継続配備するとともに、公用携帯電話を常時携帯するなどのルールを再確認することにより、校内連絡体制の迅速化を図ります。
今後の方針	・ 来年度も公用携帯電話を継続配備するとともに、公用携帯電話を常時携帯するなどのルールを再確認することにより、校内連絡体制の迅速化を図ります。													

Q43 【教職員回答】クリーンデスクを行い、児童・生徒の個人情報保護することにより、児童・生徒の人権を尊重した業務が進められていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体				
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入		
◎	100%	0%	0%				86%	8%	6%	93%	4%	3%		
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)														
1 定期的なクリーンデスクの実施														
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大方の職員については、クリーンデスクを実施できている。 ・ 週末に室内で一斉にクリーンデスクを実施する時間を作る等の対応を行うのはどうか。 ・ 少数だが、大事な書類が山積みになっていたり、隣の机に荷物が雪崩れてきたりしている。個別にもっと呼びかけてもいいと思う。 ・ 人によっては、机上整理がされておらず、雪崩が起きている。→管理職などが個別に声かけし、改善を促す。 ・ お互い、声を掛け合っているが、一部、写真が置かれているのが見受けられる。引き続き気を付けていきたい。 														
<table border="1"> <tr> <td style="width: 15%;">今後の方針</td> <td>・ 定期的なクリーンデスク日を設定するなど、児童・生徒の個人情報保護のための取組を検討します。</td> </tr> </table>													今後の方針	・ 定期的なクリーンデスク日を設定するなど、児童・生徒の個人情報保護のための取組を検討します。
今後の方針	・ 定期的なクリーンデスク日を設定するなど、児童・生徒の個人情報保護のための取組を検討します。													

Q44-1 【教職員】 今年度、「私はこれをやりました。」といえるものは何ですか。

児童・生徒への学習指導(30)	高等部入学相談の運営(1)
進路指導の充実(5)	校務分掌業務の進行(1)
寄宿舎生への生活指導(4)	自立活動担当教員との連携(1)
教職員間の連携(4)	自立活動の指導(1)
学校・寄宿舎間との連携(3)	正門花壇づくり(1)
保護者対応(2)	情報教育の推進(1)
職員室整備(2)	主任教諭選考受験(1)
生活指導マニュアル作成(2)	宿泊防災訓練の運営(1)
摂食指導(2)	特別支援学校寄宿舎指導実践協議会参加者レポート発表(1)
寄宿舎生との関わり(2)	若手教員へのアドバイス(1)
外部専門家との連携(2)	オリ・パラ給食の提供(1)
児童・生徒との関わり(2)	賄食対応(2)
光明祭舞台発表の企画・運営(2)	補習指導(1)
教室環境整備(2)	訪問学級日程調整(1)
医療的ケアの充実(2)	訪問学級合同学習の運営(2)
都指定事業(2)	クリーンデスク(1)
舎生の健康管理(2)	副籍制度における区教委との連携(1)
児童・生徒の安全管理(1)	摂食指導(1)
児童・生徒の生活指導(1)	光美展(KAGA)の運営(1)
児童・生徒の実態把握(1)	健康指導室運営(1)
開校1周年記念プログラム運営(1)	全国公開研究会企画・運営(1)
英語検定に向けた指導(1)	学事事務システム・マイナンバー利用の導入に伴う、校内書類や通知の整備(1)
保護者対応(1)	給食配膳環境の充実(1)
アレルギーのある児童・生徒への対応(1)	教育相談の円滑化(1)
ICT機器の活用(1)	緊急時の対応(1)
学校公開企画・運営(1)	業務の円滑化(1)
学校保健の円滑な実施(1)	関係各所との調整及び円滑なコミュニケーション(1)
部活動指導(1)	分掌業務(1)
校外学習の円滑な企画・運営(1)	校舎改築に関する業務(1)
来年度予算の円滑な事務処理(1)	介護等体験生への指導(1)
特別支援教育のセンター的機能(1)	敷地内外の清掃、美化、補修作業(1)
舎生会活動(1)	
職員室整備(1)	
学年運営の円滑化(1)	

※項目の後にある(数字)は、同じ内容について複数回答のあったものの回答数です。上から多い順に挙げました。

Q44-2 【HT】 介護の専門家として、あなたが自信をもっていることや課題と感じていることを記入してください。

【自信をもっていること】	【課題と感じていること】
児童・生徒の安全管理(5)	児童・生徒の学習支援(7)
児童・生徒の生活指導(3)	新規採用HITへの入門基本的な介助や補装具の使い方等の事前講義の充実(1)
児童・生徒の学習支援(1)	見通しをもった児童・生徒支援(1)
児童・生徒との関わり(1)	児童・生徒とのコミュニケーション(1)
教職員間の連携(1)	緊急時の対応(1)
介護物品の修繕(1)	

Q44-3 【保護者】 自由意見

回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)	回答・改善策
<p>・いつも有難うございます。 最近の光明が活気にあふれているように感じます。我が子も学校生活が楽しくて仕方ないようです。今後ともどうぞ、宜しくお願いいたします。</p>	<p>・本学園における学校教育活動への励ましのお言葉、誠に有難うございます。教育活動のさらなる充実に向け、校内での検討をさらに進めてまいります。</p>
<p>・毎日学校に行くことが楽しくてしょうがない様子。多くのことを学び、成長し続けているのは、先生・HT・お友達のおかげです。</p>	
<p>・日頃から息子の成長にたくさんの先生方のお力をお借りでいることに心から感謝しています。</p>	
<p>・気がついたところを勝手に記しましたが、いつも多大なご配慮に心より感謝申し上げます。</p>	
<p>・生徒の体調に合わせた無理のないペースがとても合っており、感謝の思いでいっぱいしております。</p>	
<p>・教育・指導が難しいであろう娘に対して、季節や時事に即応した授業をしていただいております。</p>	
<p>・いつも本当にありがとうございます。高等部になってしまい、残り数年悲しく思います。子供は本当に学校が大好きです。</p>	
<p>・担任の先生をはじめ、学年、グループ共に、先生方やHTの先生方の熱心なご指導に頭が下がります。本当にありがとうございます。また、卒後の進路の説明や実習の日程調整等もお忙しい中、大変良くしていただき、ありがたかったです。実習や事前面談にも学年の先生方に同席いただき、学校の様子や食事の様子を施設側に伝えていただき、おかげさまで生徒本人も落ち着いて実習に臨むことが出来ました。光明祭でも、それぞれの個性を生かした演技に感動しました。どうもありがとうございました。</p>	
<p>・子供も母も心身共に支えてもらっている。感謝している。</p>	
<p>・きめ細かく見て下さる教職員には感謝しかありません。</p>	
<p>・ICT機器の強化をお願いします。もっと授業に取り入れてほしいです。</p>	<p>・児童・生徒の学習活動を効果的に進められるよう、情報科教員が中心となり、校内研修開催等の検討を行い、パソコンやタブレット端末のより一層の活用を目指します。</p>
<p>・重度障害の子にもipad等の機器を扱わせて下さい。</p>	
<p>・先生同士の連携がとれていないような感じがします。違う先生に子供のことで同じような質問をされる事が多く、共有されていないのかと思います。</p>	<p>・教員・学校介護職員間の連携について、御意見くださり、誠に有難うございます。児童・生徒の指導が充実するよう、教職員間の情報共有及び連携に努めます。</p>
<p>・教室内の運営は、教員だけでなく、HTの先生方のお力も必須であり、大きなものであると感じています(オムツ変え・食事対応等)が、もう少し教室内でのご指導、伝授を、教員からHTの先生へお願いできればという場面も感じております。</p>	

回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)	回答・改善策
<p>・一番子どもに近い教員(担任)の立場の先生が年々委縮している気がする。「子どものために…」という純粋な気持ちを持っていても、組織として難しいのか、やりたいことができなくなってきているのではないかと。先生が楽しい！生き生きしてないことは子どもは感じ取り易い。悪循環では？これには保護者の影響が大きいと思う。学校側を見張ったり、過剰な粗探しをせず、感謝の気持ちを基本にやり取りしていくべき。このような気持ちを持っている保護者は多いと思う。ただ声をあげられないだけ。</p>	<p>・教員・学校介護職員間の連携について、御意見くださり、誠に有難うございます。児童・生徒の指導が充実するよう、教職員間の情報共有及び連携に努めます。</p>
<p>・*年*先生、*年*先生と、2年で主担任の先生は変わっておりますので、来年度は是非、他の先生にも主担任として子どもに関わって頂きたい存じます。</p>	<p>・各学級・クラス担任配置につきまして、皆様の御意見をうかがいました。4月には新入生が加わります。教職員全員が各児童・生徒のニーズに合わせた指導・支援を行っていくことが、学園の使命と言えます。教職員がお子様に関わった指導・支援を行えるよう、情報共有や指導技術の向上を図ることができるよう、校内の取組を検討いたします。</p>
<p>・教員の対応力や質の向上をお願いします。現担任に満足しているので、年度替わりに変更があるのではと不安です。どの先生にあたって不安になることがないように、研修を充実させて教育のレベルアップを目指して下さい。</p>	
<p>・小学部低学年は、伸びしろの幅もあり、成長期であり、今後の子どもにとってとても心身に大切な時期だと考えておりました。その間、担任の先生が毎年変わり、3年生に上がる時には、主担任まで変わってしまいました。なかなか前年度からの共有も難しく、今年1年は親子共々大変ストレスを抱えながらのスタートとなりました。先生方も、日々努力して下さいはありますが、先生と生徒の関係は時間をかけて築き上げていくものではないでしょうか？</p>	
<p>・中学部になると同性介助が基本となるため、学校介護職員さんに関わる時間が多いように思います。担任の先生が把握できない場面もあつたり、教育的な指導を受ける機会が減っているのではないかと感じています。もちろん学校介護職員さんには日々しっかり子供を見ていただいています感謝しております。</p>	<p>・各学級・クラス担任配置につきまして、皆様の御意見をうかがいました。4月には新入生が加わります。教職員全員が各児童・生徒のニーズに合わせた指導・支援を行っていくことが、学園の使命と言えます。教職員がお子様に関わった指導・支援を行えるよう、情報共有や指導技術の向上を図ることができるよう、校内の取組を検討いたします。</p>
<p>・教職員の人数が足りていないように感じる。各教員の負担が重い。</p>	
<p>・先生方が大変そうなので、もう少し介護職員さんや講師に頼ってもよいのではと思います。</p>	
<p>・高等部にももう少し、医ケア経験のあるベテラン先生を増やしてほしいです。</p>	
<p>・学年の出席率が良いことを、元気な子とだけ捉えずに、発達面・生活QOL面と適した担任・HT等の配置を望みます。</p>	
<p>・今年度登校中の事故が多かったと思いますが、正直なところ日々の現場の先生方の負担が大き過ぎると思います。学校の方針(さらにその上の都・国の方針)として決まったルールとしてお子さんの(それぞれの状態)をある程度受け入れるということとなっても、現場の先生方の声なども重要視し、拾い上げる体制があるのかと疑問に感じます。また現在、その体制がなければ、見直して頂きたいと思いました。</p>	
<p>・*グループに関しまして、名前が、「知的障害を併せ有する・・・」というクラス名に本人はショックをうけています。本人自身は、知的障害はなく、学習障害があるという自覚なので、今は名前に関してもご検討ください。</p>	<p>・教育課程名は、東京都教育委員会が決定し、全都立特別支援学校へ一律の指導を行っています。本学園では、教育課程別で学習グループ名を決め、アルファベット表記することにより、児童・生徒が学習するグループを理解しやすいようにしていますので、御理解くださいますよう、お願いいたします。</p>
<p>・就学奨励費についてですが、スクーリング時のタクシー代を出していただけるようになり有難いです。しかし、校外学習で現地集合した分が認められないのは、不公平のように感じます</p>	<p>・就学奨励費の費用細目につきましては、東京都教育委員会が決定しており、それに基づき、本校では事務処理を行っています。訪問学級生の校外学習についても、同様となっております。御不明な点がございましたら、お知らせください。</p>
<p>・スクーリングについては、1対1でなくてもいいので、回数を増やしてほしいです。</p>	<p>・御意見いただき、有難うございます。訪問学級の教育活動充実に向け、校内で検討いたします。</p>
<p>・訪問生にも英語の授業を受ける機会があるとよいと思います。</p>	
<p>・月曜日の祝日が多く、授業が減ってしまいます。減った日数すべてを補うのが困難でも、数日でも他の曜日に授業を入れていただき、不公平をなくしてほしい。</p>	

回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)	回答・改善策
<p>・訪問者がスクーリングに行った時に、学校に1日いると、他の曜日の授業がなくなってしまうのはおかしいと思う。それぞれの体調・体力に合わせて授業の時間(回数)を増やす(又は減らす)必要があると思います。医療的ケア(人工呼吸器を含む)のある子供達の学びの環境をしっかりと確保していただきたいです。</p>	<p>・御意見いただき、有難うございます。訪問学級の教育活動充実に向け、校内で検討いたします。</p>
<p>・訪問籍ですので、他のお子さんがどのようなことをしているのか、あまりよく知りません。通学生の様子も、訪問の授業についても、プリントだけでなく、情報があると良いと思います。</p>	
<p>・医ケアがなくても行事に付き添いを希望する申請書があるといいです。子どもに必要なケアは医ケアだけではありません。知能・精神の未熟さも必要なケアだと思います。まず書面で理由を提出し、その後各関係との話し合いに進めるとよいです。</p>	<p>・行事の目的を押さえた上で、お子様がよりよい状況で活動に参加できるように、共に考えていきましょう。</p>
<p>・トイレでの事故が相次いでいるようですが、事故が起きないようにすることは大切ですが、その解決策が安易に「オムツ交換」とならないようにお願いしたいです。排せつは人としての尊厳の最たるものだと感じます。気温・空間・ベッドの高さなど、まずは新校舎では新しく作るからこそできる環境の整備に心を砕いて取り組んでいただきたい。</p>	<p>・新校舎移転に伴い、トイレ環境については校内での検討を進めています。児童・生徒が安心して日常の学校生活を送ることができるよう、安全管理を第一としながらも、児童・生徒の実態に応じた指導を行っていくよう、努めます。</p>
<p>・私の息子は寄宿舎でお世話になっております。私は息子を今日まで甘やかして育ててしまいました。息子が少しでも自立できるようにと親元から手離し寄宿舎生活へと光明への入学を決意しました。決して息子は光明学園や寄宿舎のお客様として入学した訳ではありません。残りの*年は今までより厳しく指導をよろしくお願い致します。</p>	<p>・寄宿舎生の生活スキル向上に向け、学校・寄宿舎の連携をより密にし、生活指導の充実を図ります。</p>
<p>・夏に行われた摂食の研修(教員向け?)に外部参加者として我が家にも関わりのあるヘルパーさんが参加しました。「せっかくの研修でも多くの教員が寝ていて驚いた」と言っていました。私も数年前、保護者が参加しても良い医ケアの話の聞きに参加させてもらったことがあり、その時も同じように寝ている教員がたくさんいて、びっくりしたことがあります。その辺りの一生懸命さは感じず、残念です。</p>	<p>・研修の意義を全校教職員が適切に理解し、受講できるように指導を行います。</p>
<p>・医ケアの3日分の非常用物品を体育館の2階に置いておくのは果たして安全なのか。これまでの災害で意外と体育館の被害は大きく、屋根が落ちたりもしているので、いざというとき、とれるのかな～とちょっと不安に思います。</p>	<p>・非常用物品の保管については、昨年起こった台風による水害を鑑み、校内で最も安全性の高い体育館において、2階のスペースを設定いたしました。今後も、様々な専門家にも御意見いただき、適切に有事対応できるように努めます。</p>
<p>・呼吸器の生徒の親が常に付き添わなくてはならないことも改善されるべき事業だと思います。命にかかわることなので、都や学校が足踏みするのも理解できますが、今後も学校側の努力を期待しております。</p>	<p>・都指定事業の指定校として、人工呼吸器を使用する児童・生徒の安全管理を図りつつ、保護者の校内待機を自宅待機へと変えていけるよう、段階を踏んだ取組を検討し、東京都教育委員会への提案しています。今後もよりよい成果が上げられるよう、努めてまいります。</p>
<p>・外に対してのアピールが多く、もっと児童生徒、校内の子どもたちのことを教えて頂けたらと思います。(上席にいらっしゃる方々は、もっと担任などの意見を聞くべきです。)</p>	<p>・御意見いただき、有難うございます。校内の教職員間、学校・家庭観の連携がより進められるよう、取組を検討いたします。</p>
<p>・高校生活(学生生活)も残り*年になります。*年後社会に出るためにも学んでほしいことはたくさんあります。今のままではとても不安です。家庭でできる事と学校でできる事など共有して、少しでも子供を成長させたいと考えております。</p>	
<p>・肢体不自由校なのに常勤でPTさんがいないのが疑問です。自立活動の時間をもう少し充実してほしいです。入学前に訪問PTを探した方がいい、自活の時間は期待しない方がいいと、先輩母に言われました。私も同じことを言わなければならない、現状。</p>	<p>・御意見いただき、有難うございます。自立活動担当教員を中心に、各学部の指導について充実を図っております。いただいた御意見を真摯に受け止め、よりよい自立活動の指導を目指します。</p>
<p>・スクールバスを利用しています。スクールバスに乗車できないお子さんもいる中で、乗車して登校できることは大変ありがたいが学校が大好きな子供にとってお友達と一緒に登校することはとても幸せなことと思っております。無理なこととは思いますが、例えば、スクールバスに先生が一人乗車してくださることはできないでしょうか？運転手さん、添乗員さんが子供に関われないことを考えると、先生が乗車してくださることで、かなり安心、安全に乗車できるのではないかと思います。</p>	<p>・スクールバスの運転手、添乗員には、スクールバス研修会を年間3回実施し、児童・生徒の安全管理を第一に運行を依頼しています。安全乗車に向け、御不安なことがございましたら、いつでも学校へお問合せください。</p>
<p>・それは、バス停についてです。娘は転入してすぐのは片道30分の場所になり、1年後は今のバス停になりました。その際も新生生のバス停が決定した後で、片道20分の場所にしか設定できないとのことでした。現高3の方が卒業される時にまた再検討をしようかと、バス部の先生に言われました。次年度がその年になります。バス停の再検討と乗車人数に合ったバス運行も検討していただきたいです。</p>	<p>・スクールバスにつきましては、学園生の皆さんが負担なく乗車できるよう、前年度から東京都教育委員会ともバスの台数を相談するとともに、実際に複数回バスコース下見や試乗を行った上で、検討しています。いただいた御意見を参考にさせていただきます。</p>

回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)	回答・改善策
<p>・新しい校舎が出来たら、医ケア以外の子の送迎車を置けるスペースがほしい。</p>	<p>・駐車場については、全学園生の駐車場を受け入れたいところではありますが、スペースの都合上困難であるため、駐車場利用をお控えいただいております。先着順などの方法では、公平性が保てない部分もございますので、御理解くださいますよう、お願いいたします。</p>
<p>・自家用車での来校制限が年々厳しくなっているように感じます。(少なくともお知らせ類でも文言等は)全員分はスペースがないので全面禁止ではなく、「限られたスペースなのでなるべく避ける」ぐらいでいいのでは？と封鎖された南北駐車場のがら空き状況を見て思いました。(光明祭や授業参観の日など)</p>	<p>・校内安全管理については、校内複数個所に監視カメラを設置するとともに、北沢警察署とも本学園の不審者対策について連携しております。西棟完成に伴い、校内セキュリティ体制向上のため、検討を行います。</p>
<p>・開放的である反面、セキュリティは弱いかもしれない、不審者を防ぐ方法を見つけてほしい。</p>	<p>・お持ちいただいた缶等は、御自宅での処分を原則としています。注入用缶をお持ち帰りいただく際には、学校でも細心の注意を払って準備しておりますので、御不安なことがございましたら、担任までお知らせください。また、自動販売機業者は、回収対象として自動販売機で販売している飲料の缶・ペットボトルを回収するとして契約を結んでいます。その旨、御理解ください。</p>
<p>・注入用に持たせた缶はなるべく学校で処理していただきたいです。缶底に残った分がわずかですが他の物品についてしまったり、衛生面でよくないと思っております。自販機の業者さんをお願いして空きペットボトルと一緒に引き取っていただいたりはできないでしょうか。</p>	<p>・病弱教育としてまだ2年目という事もあるが、入学した者にとっては最初からエキスパートとして理解してくれると思っていた。現実には病気に関する教員の理解がない。子どもも傷ついた。肢体だけでなく病弱においても子どもも親も安心できる学校作りをしてほしい。教員、寄宿舎指導員の専門性向上の研修会参加機会を増やしてほしい。</p>
<p>・併置校の特色が活かせていない。病弱教育部門について積極的にアピールすると良い。</p>	<p>・病弱教育部門の教育活動をさらに充実させることができるよう、校内取組を検討いたします。</p>
<p>・学校への休みの連絡など、電話、FAXだけでなく、メールでできるようにしてほしいです。FAXを置かない家もありますし、電話は時間を気にしてかけなければなりません。メールで連絡できれば、急な入院や体調不良時に夜中でも一報入れておけるので助かります。</p>	<p>・全都立学校で共通する事項ですが、学校として保護者の皆様へお知らせできるメールアドレスがございません。そのため、大変恐縮ですが、これまでと同様に電話、FAXで御連絡くださいますよう、お願いいたします。</p>
<p>・お休みの連絡を電話やFaxだけでなくメール連絡も可能にして頂けるといいのに・・・という意見が学年のママたちから上がりました。ご検討頂けるとありがたいです。</p>	<p>・オリンピック・パラリンピアンを招聘した「夢・未来プロジェクト」は、東京都教育委員会から業務委託を受けたイベント会社が運営を行っております。記念撮影は、その会社からの指示のとおり撮影体制を組みました。今後実施の際は、御意見いただいた内容を踏まえ、会社との協議を行います。</p>
<p>・保護者対象行事の時間帯を午前にしてほしい。兄弟関係やバスで参加できない事もある。</p>	<p>・御意見いただき、有難うございます。検討させていただきます。</p>
<p>・校長のおっしゃる「伝統ある光明」を今後も語り継いでいかれるよう、よろしくお祈りいたします。「全国に先んじて…」というお言葉を信じております。ぜひ、全国の特別支援学校のモデルとなるような学校になりますように。</p>	<p>・御意見いただき、有難うございます。光明学園として両母体校の実践をさらに発展させ、学校教育活動の充実を目指し、取り組んでまいります。</p>

・紙面の都合上で、お寄せいただいた御意見のうち、同様の趣旨で複数の御意見をいただいたものにつきましては、まとめて掲載させていただきます。